

会 議 録

1 会議名

平成30年度 第8回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について（公開）
- (2) 上越妙高駅観光案内所 運営方法の見直しについて（公開）
- (3) 地域活動支援事業 募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて（公開）
- (4) 自主的審議事項 雪を生かした地域づくりの推進について（公開）
- (5) 編集委員について（公開）

3 開催日時

平成31年3月20日（水） 午後7時10分から午後8時08分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第1研修室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：水澤俊彦（会長）橋本 勲（副会長）、秋山澄子、泉 幸雄、市橋邦夫、
小林春男、高橋善昭、土屋史郎、平原 匡、前川正治
- ・行政改革推進課：今井課長、佐野主任
- ・観光振興課 施設経営管理室：丸田副室長、井部係長
- ・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、佐藤係長、小林主任

8 発言の内容

【佐藤係長】

- ・有坂委員、岩澤委員、植木委員、笠原委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席

を確認、会議の成立を報告

- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は水澤会長が務めることを報告

【水澤会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：前川委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

—第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について—

【水澤会長】

次第3報告(1)「第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について」に入る。

行政改革推進課に説明を求める。

【今井課長】

市は今年度、第6次総合計画の後期基本計画、第2次財政計画(改訂版)、第6次行政改革推進計画を改定した。本日は行政改革推進計画と、その取り組みの一つとして実施した、事務事業評価の評価結果について概要を説明させてもらう。なお、お手元に配布した資料の「第6次上越市行政改革の概要」は、広報上越の3月15日号の配布に合わせて皆さんのお宅にお配りしたもの。概要の説明は担当の方からさせてもらう。

【佐野主任】

資料No.1、No.2により説明。

【水澤会長】

行政改革推進課の説明について質疑、意見を求める。

【小林委員】

保育園の民営化を進めていると聞いたが、その辺はどうなのか。

【今井課長】

保育園の民営化は、先般議会等で説明させてもらったが、例えば市が直営でやっている施設を民間の方にやってもらうとか、いくつかの保育園を統合し、違うところに建てるとか、そういうことを含めて、今検討している状況。もう少し具体的になれば、関係課等から説明させてもらうようになると思う。今、具体的な話はできかねる。

【水澤会長】

他に意見を求めるがなし。

—上越妙高駅観光案内所 運営方法の見直しについて—

【水澤会長】

次第3報告(2)「上越妙高駅観光案内所 運営方法の見直しについて」に入る。

観光振興課 施設経営管理室に説明を求める。

【丸田副室長】

今ほどの事務事業の評価の件で、行政改革推進課の説明の中にも若干あったが、観光振興課では、より詳しくお話しさせてもらいたいということで、時間を取ってもらった。上越妙高駅観光案内所の開設時間見直しについて、お手元に配布されている資料No.3で説明させてもらう。

資料No.3により説明。

【水澤会長】

観光振興課 施設経営管理室の説明について質疑、意見を求める。

【前川委員】

案内所の窓口対応をする方は、男性1人、女性1人、平日は2人だったか。

【丸田副室長】

時間帯で委託しており、委託先に窓口対応として2人置いてほしいとお願いしている。たまたま委託先で採用した方が、男性1人、女性1人という状況である。

【前川委員】

市の職員ではなく、窓口は委託の方がやっているということか。

【丸田副室長】

その通りである。

【前川委員】

分かった。

【土屋委員】

18時以降は1.2人と、非常に少なく感じる。一律午前9時から午後6時までではなく、例えば土曜日だったら、午前9時から午後8時までにするとか、そういう対応はできないか。

【丸田副室長】

今すぐ対応はできないが、貴重な意見として持ち帰らせてもらう。

【橋本副会長】

これは年間を通じての見込みというか、計画か。例えば観光シーズン、上越の場合だと、これから花見とか色々ある。イベントやシーズンに合わせた弾力的な時間の設定は考えられないか。

【丸田副室長】

今後また考えさせてもらう。平成31年度からすぐ対応できるかどうか分からないが、今日は貴重な意見として持ち帰らせてもらう。

【水澤会長】

今二人の委員から話があったように、上越妙高駅は上越全体の玄関口である。観光案内所は、高田駅にもあるだろうが、利用の件数が少ないのは、やはり奥まった場所にあるのも一つの要因だと思う。待合所に入った人しか分からない。そんなことも含めて、貴重な意見として検討をお願いしたい。

他に質疑を求めるがなし。

—地域活動支援事業 募集要項及び審査採択の基本的なルールについて—

【水澤会長】

次第3報告(3)「地域活動支援事業 募集要項及び審査採択の基本的なルールに

ついて」に入る。

事務局に説明を求める。

【佐藤係長】

資料No.4～6に基づき説明。

【水澤会長】

事務局の説明について質疑、意見を求めるがなし。

—自主的審議事項 雪を生かした地域づくりの推進について—

【水澤会長】

次第4議題(1)「自主的審議事項 雪を生かした地域づくりの推進について」に入る。

前回の会議では、和田区雪イベントの実行委員長並びに副実行委員長を、大和小と和田小のPTA関係者から引き受けてもらえると話をさせてもらった。

まずは、私からその後の進捗状況について報告させてもらおう。

新年度のPTA役員、和田小、大和小の役員の方々に話をし、実行委員長に大和小学校のPTA会長に引き受けてもらい、副実行委員長に和田小学校PTA会長にお願いした。そして事務局は私、総務担当や市の補助金申請等の担当は、橋本副会長にお願いしたい。それから釜蓋遺跡公園イベント担当、上越妙高駅周辺イベント担当、広報担当のところに、先般意見交換会で賛同してもらった団体名にお願いしたいと思う。釜蓋遺跡公園のイベント担当は、和田体育協会、吹上釜蓋遺跡応援団、上越市消防団上越方面隊和田分団。それから上越妙高駅周辺イベント担当として、脇野田ゆかりの会、J-Mエコーズ。広報担当として、大和倶楽部、上越妙高駅周辺事業協同組合、上越市南部振興会、和田地区振興協議会。この上越市南部振興会は、和田、西田中、寺町の工業団地でできた振興会だが、和田商工会と重複して入っている方もいる。それから上越妙高駅周辺事業協同組合とも、重複している事業者が結構ある。南部振興会には65社ほどある。ここの広報担当に含めたのは、和田区で事業展開する事業者全てに声掛けをしたいという考えである。この和田地

区振興協議会については町内会長会、商工会、農政対策協議会、農家組合長会、それから土地改良区ということで、5団体あるが、各団体の皆さんが副会長になっているので、ここに含めて広報担当となってもらう。実行委員会については、早々に立ち上げなければいけないので、現在、第1回実行委員会の開催に向けて実行委員長と副実行委員長と調整している。

先般話をさせてもらったように、委員の皆さんからも一個人として協力してもらいたい。皆さんからどの担当のところに入ってもらえるか聞かせてもらえればと思う。事務局が私一人なので、この辺も含めて事務局にもう少し、何人かいないと大変だと思う。ご自身で希望する担当があればお聞かせ願う。

秋山委員、いかがか。

【秋山委員】

どこでもよい。

【水澤会長】

では順に聞いて行く。秋山委員、事務局を一緒にやってもらえるか。

【秋山委員】

分かった。

【水澤会長】

ここをやりたいという担当があれば。

広報担当については、誰か委員の中から出てもらえればと思うが。総務担当とか。まだ実行委員会が開かれていないので、何をどこでやるかということもあると思うが。

【橋本副会長】

四つの担当に分かれているが、例えば総務担当だから、担当以外はやらないでよいというわけではない。これから、どんなことをやろうかということも含めて決めて行かないといけないと思う。

【水澤会長】

いろいろ分担はあると思うが、全体でやらなければいけないと思うし、また実行委員会を進めて行く中で、変わってくると思う。

【橋本副会長】

財務担当は、金集めが上手な人が一番よいかもしれないが、その辺も含めて考えてもらえれば。

【水澤会長】

要請も含めてお願いします。泉委員は総務担当をお願いします。

市橋委員は。

【市橋委員】

釜蓋遺跡公園イベント。

【水澤会長】

小林委員は。

【小林委員】

和田地区振興協議会に入っているのです、そこでよい。

【水澤会長】

広報担当で、お願いします。

高橋委員は。

【高橋委員】

上越妙高駅周辺イベント担当。

【水澤会長】

土屋委員は。

【土屋委員】

釜蓋遺跡公園イベント担当。

【水澤会長】

平原委員は。

【平原委員】

上越妙高駅周辺イベント担当。

【水澤会長】

前川委員は。

【前川委員】

釜蓋遺跡公園イベント担当。

【水澤会長】

前川委員は事務局を担当してもらいたい。指名させてもらう。前川委員、お願いする。

【前川委員】

事務局か。

【水澤会長】

体も使うが、先に頭を使ってもらう。事務局は、私一人ではとてもできない。

【橋本副会長】

そういうことになると、総務ももう一人。

【水澤会長】

今日欠席の委員が、有坂委員、岩澤委員、植木委員、笠原委員の4人いるので、後ほど聞いておきたい。実行委員会の招集については、実行委員長と副実行委員長の都合を聞いて、第1回の実行委員会を開きたいと思う。また皆さんには、事務局から連絡させてもらう。まず実行委員会が立ち上がらないと補助金の提案ができないので、まずは第1回実行委員会を開く。ただ3月末はちょっと難しいので、4月に入ってから早々に日程調整をしたい。当初からこの事業はPTAの事業としてやるのではないということを強く言ってある。学校の先生も関わる部分もあるが、それは一切違う。いわゆるこの地域のイベント、地域の皆さん、それから地域から協力してもらえる団体の皆さんと行うこと。特に両校の子ども達が主役で、参加をしてもらおうイベントということ。それを承知してもらっているので、ぜひその辺はよろしくお願ひしたい。

あと今日欠席の委員には私の方からお伺ひして、第1回の実行委員会の招集をさせてもらう。よろしくお願ひしたい。

他に質疑、意見を求めるがなし。

前もって実行委員会を開催するので、協力をよろしくお願ひしたい。

—編集委員について—

【水澤会長】

次第4議題（2）「編集委員について」に入る。

事務局に説明を求める。

【佐藤係長】

編集委員については、皆さんが委員に就任された平成28年の初回の会議で、人数は3人、任期は1年、正副会長を除き、1年交代の名簿順でまわすことを決めてもらった。

振り返ると28年度は1年目ということで、秋山委員、有坂委員、泉委員から、29年度は2年目ということで、市橋委員、岩澤委員、植木委員から、30年度は3年目ということで、笠原委員、小林委員、高橋委員からそれぞれ務めてもらった。

31年度については、来年度になるが、4年目ということで、4月29日から任期上はスタートとなる。委員については名簿順でいくと、土屋委員、平原委員、前川委員の3人となる。

今ほど説明したことも参考に、4年目の編集委員を決めてもらいたい。

【水澤会長】

事務局の説明に質疑、意見を求めるがなし。

平原委員、編集委員を務めてもらえるか。

【平原委員】

編集委員の仕事は何をするのか。

【佐藤係長】

たよりにについては、年4回、7月、10月、1月、3月、概ねそのくらいの月で発行している。まずは事務局で、このような構成でやりたいといった原稿案を、編集委員の皆さんから見てもらい、内容を確認してもらおう。委員自身から原稿を作ってもらおうという話ではなく、事務局で作った案の内容を確認してもらい、意見を出してもらおうのが仕事。事務局が作成した原稿案で問題がなければ、委員自ら特に何かしてもらおうことはない。

【水澤会長】

平原委員、今の説明でよいか。

【平原委員】

よい。

【水澤会長】

最終年度、4年目なので、全員から編集委員をお願いしたいと思う。では土屋委員、平原委員、前川委員、よろしくお願いします。

—事務連絡—

【水澤会長】

「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

今回の会議日程だが、今回はできれば5月を予定しており、そちらの方では、地域活動支援事業の審査を予定している。日程については、後日改めて決めさせてもらいたいと思う。

・配布資料

ウィズじょうえつからのおたより

【水澤会長】

今回の地域協議会の日程については、改めて決定したい。4月いっぱい地域活動支援事業の募集期間となる。また案内をするので、よろしくお願いしたい。

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。